

設置・ご使用にあたっての注意事項

<ノウム戸建て住宅用>

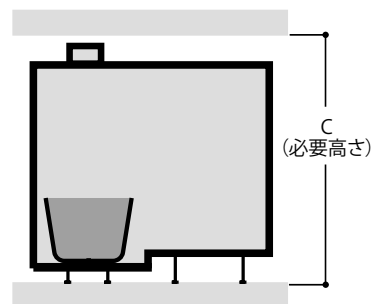
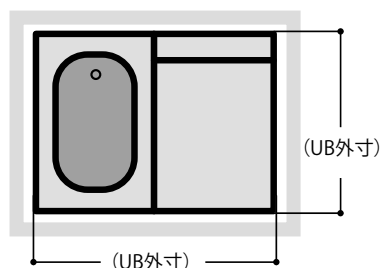
■仕様一覧

各種寸法

サイズ	1621	1616	1216
内形寸法 (mm)	1600×2050×2000H (2150H)	1600×1600×2000H (2150H)	1150×1600×2000H (2150H)
外形寸法 (mm)	1650×2100×2676H (2826H)	1650×1650×2676H (2826H)	1200×1650×2676H (2826H)
商品重量 (kg)	約420	約350	約300

※ () はH2150の場合です。

※外形寸法は、壁断熱材の厚みを含みます。暖房換気乾燥機の場合の寸法です。

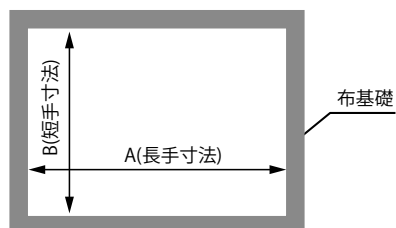


ノウム戸建て用設置必要寸法

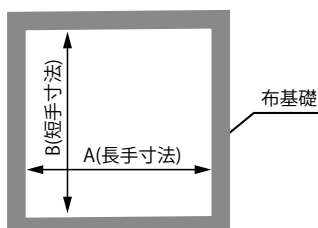
サイズ	壁高さ	A 長手寸法	B 短手寸法	B 短手寸法 注1	土間～天井裏 C					脱衣室FL～天井裏	
					脚高さ 546±45	脚高さ 466±35	脚高さ 361±30	脚高さ 286±15	脚高さ 241±20	折戸 スイングドア	2枚引き戸 3枚引き戸 片引き戸
1621	H2000壁	2120	1670	1700	2796±45	2716±45	2611±30	2536±15	2491±20	2241	2233
	H2150壁	2120	1670	1700	2946±45	2866±45	2761±30	2686±15	2641±20	2391	2383
1616	H2000壁	1670	1670	1700	2796±45	2716±45	2611±30	2536±15	2491±20	2241	2233
	H2150壁	1670	1670	1700	2946±45	2866±45	2761±30	2686±15	2641±20	2391	2383
1216	H2000壁	1670	1200	1250	2796±45	2716±45	2611±30	2536±15	2491±20	2241	2233
	H2150壁	1670	1200	1250	2946±45	2866±45	2761±30	2686±15	2641±20	2391	2383

※注1 洗い場側水栓接続で壁接続を選択した場合と、浴槽下接続で浴槽側壁付水栓または兼用壁付水栓を選択した場合

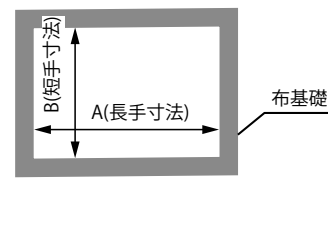
<1621サイズ>



<1616サイズ>



<1216サイズ>



床

材質	FRP（強化プラスチック）製	
洗い場床面		単色
	オプション	柄付
床保温シート（オプション）	発泡PE シート（厚さ5mm）	
高断熱材（オプション）		発泡PS 洗い場床（厚さ80mm） / トラップ（厚さ10 ～30mm）
	気密パッキン	エプロン（厚さ20mm）※

※浴槽パンなし仕様のみ付属します。

浴槽パン

材質	FRP（強化プラスチック）製
浴槽パン用断熱材※ （オプション）	発泡PS（厚さ16 ～60mm）

※保温浴槽仕様の場合は。

浴槽

FRP浴槽※1	FRP（強化プラスチック）製
クリーン浴槽※ 2	有機ガラス系人造大理石製

※1 24時間バス対応不可

※2 24時間バス対応可（ただし、保温浴槽は24時間バス対応不可）

壁

壁パネル	e パネル：化粧鋼板 (不燃認定番号：NM-0150、NM-3790)
------	--

天井

天井	フラット天井／化粧鋼板 (不燃認定番号：NM-0150、NM-3790)
----	---

給排水

給水	裏配管A セット		給水・給湯管／13A 架橋ポリエチレン管 外径φ17 保温材巻き（ポリエチレン t=3） 先端カット+R1/2アダプター付
		※適用JIS	JIS K 6769 架橋ポリエチレン管（認定番号396040） JIS K 6788 水道用架橋ポリエチレン管継手（認定番号501015）
排水トラップ			封水50mm 接続口：50A（バス兼用トラップ）
雑排水管			接続口：塩ビ管50A
浴槽排水方式			ヒートン栓（ゴム栓）または ポップアップ排水栓

ドア

		枠／ドア	面材	取っ手
2枚折りドア	ホワイト シルバー	アルミ製	スチロール （厚さ2mm）	樹脂・アルミ製 ホワイト/シルバー
スイングドア	ホワイト シルバー ブラック	アルミ製	スチロール （厚さ3mm）	アルミ製 ホワイト/シルバー/ブラック
			強化ガラス （厚さ4mm）	
腰壁FIX窓 （オプション）	ホワイト シルバー ブラック	アルミ製	強化ガラス （厚さ4mm）	—
600幅FIX窓 （オプション）	ホワイト シルバー ブラック	アルミ製	強化ガラス （厚さ4mm）	—
片引き戸 3枚引き戸 2枚引き込戸	ホワイト シルバー	アルミ製	スチロール （厚さ3mm）	樹脂製 ホワイト/グレー

風呂フタ

サイズ	浴槽材質	巻きフタ	組みフタ	断熱組みフタ
1621 1616	共通	740×1526 厚さ12mm (2.3kg)	740×1536 厚さ15.5mm (3.7kg)	740×1536 厚さ24.0mm (3.8kg)
1216	クリーン浴槽	727×1118 厚さ12mm (1.6kg)	740×1100 厚さ15.5mm (2.3kg)	740×1100 厚さ24.0mm (2.6kg)
	FRP浴槽		727×1100 厚さ15.5mm (2.7kg)	727×1100 厚さ24.0mm (2.8kg)

照明

	光源の種類	消費電力 (W)
サークルLED照明	LED (電球色)	5.7
ダウンライト照明	LED電球 (電球色相当)	4.7

。LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。光源寿命は設計値であり、保証値ではありません。（照明器具の寿命とは異なります。）

光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

換気扇

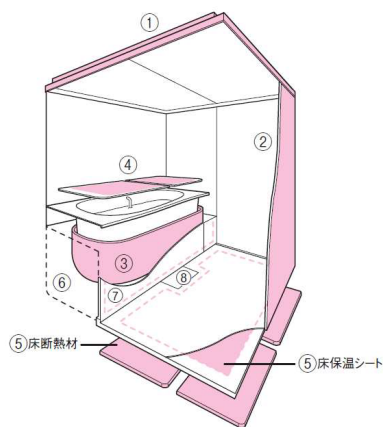
		50Hz	60Hz
接続口		φ100	
換気扇 (電気式)	RL3716	8W	8.5W
	(100V)		

暖房換気乾燥機

接続口		φ100
オートルーバー暖房換気乾燥機	GVL5700A (100V)	約1380W
暖房換気乾燥機	GVL7210 (200V)	約2250W

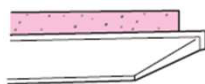
※1216 サイズは200V の機種は対応不可

■仕様一覧（断熱材）



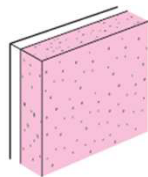
①天井（フラット天井）

断熱材	
材質	サイズ
発泡樹脂	厚さ20mm



②壁

断熱材	
材質	サイズ
発泡PS	厚さ15mm



③浴槽断熱材

断熱材	
材質	サイズ
発泡PS	厚さ約20～40mm



④断熱組みフタ

断熱材	
材質	サイズ
発泡PS	厚さ約20mm

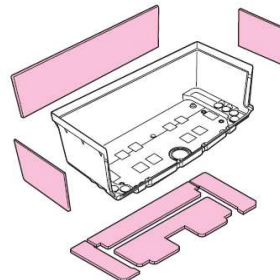


⑤洗い場床

サイズ	断熱材	
	材質	サイズ
床保温シート	発泡PEシート	厚さ5mm
床断熱材	発泡PS	厚さ80mm

⑥浴槽パン

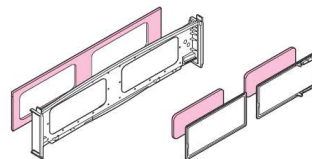
断熱材	
材質	サイズ
発泡PS	厚さ16～60mm



⑦エプロン断熱材

断熱材	
材質	サイズ
発泡PS	厚さ20mm

※浴槽パン仕様の場合は、設定なしとなります。



⑧排水トラップ

断熱材	
材質	サイズ
発泡PS	厚さ10～30mm

（浴槽パンなし仕様）

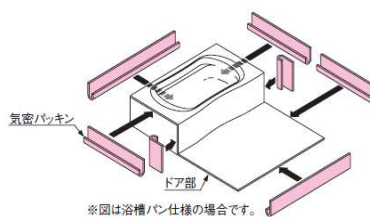


（浴槽パン仕様）



⑨気密パッキン

断熱材	
材質	サイズ
発泡PEシート	厚さ2mm（幅100mm×L2000mm×5本）



※図は浴槽パン仕様の場合です。

<取付設置上のご注意>

工務店様

■確認事項

1.品質保証の内容

次の通りとさせていただきます。

- | | | |
|--------|-------|----|
| a)保証期間 | 防水性能 | 5年 |
| | その他性能 | 3年 |
| | 水栓 | 2年 |
| | 電気部品 | 1年 |

ただし、消耗部品(照明の管球、グローランプ、バッキン等)は除く。

b)免責事項

1. 使用上の誤り及び不当な修理、改造による故障及び損傷
2. 火災、地震、水害等、天地異変による故障及び損傷
3. 異常水質、異常水圧、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
4. その他、上記に準ずる改造、組立以外の故障及び損傷
5. 寒冷地の場合、水抜き忘れのための混合水栓の故障及び損傷
6. 当社手配でない部品の故障及び損傷

2.無償支給お願い事項

- a) 現場作業用動力、光熱、水、その他

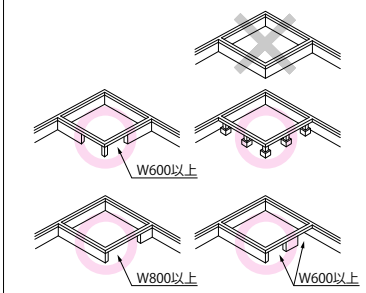
3.無償貸与お願い設備

- a) バスルーム部品搬入用リフトなどの運搬設備並びに運転者

4.基礎開口について(下図参照)

配管接続やレベル調整のため、布基礎に必ず基礎開口(W600以上)を2か所以上設けてください。1か所の場合W800以上としてください。

図:基礎開口について



5.暖房換気乾燥機(電気式)について

- 暖房換気乾燥機(電気式)はバスルーム専用です。それ以外の浴室には使用しないでください。
- 地域によっては、樹脂成形天井および収納ニッチは取り付けできないことがあります。

■暖房換気乾燥機(電気式)に関する法規

暖房換気乾燥機(電気式)に関しては、他の商品に比べ特別な配慮を要する関連法規があります。以下に示しますのご確認ください。

●関連法規基準

1. 火災予防条例指導基準に基づくこと
 2. 建築基準法第2条第9号に基づくこと(不燃材料の規定)
- (詳細は、所轄の監督官庁にてご確認ください)

火災予防条例指導基準

(東京消防庁 平成6年7月27日予第590号一部抜粋)

1.機器本体

- 適合機器本体の可燃物等からの保有距離については、条例第22条の2を適用し製造業者等が指定する距離で設置できるものであること。
- 機器は、上階スラブまたは天井等に取り付けること。
- 浴室内への温風吹出口及び空気吸込口の前方10cm未満の範囲内には、造材等(乾燥する衣類を含む。)を設けないこと。

2.換気ダクト

(浴室の除湿等を目的とする機器本体と接続されるもの)

- ダクトは不燃材料で造ること。
- ダクトは専用とすること。
ただし、同一の住戸内の洗面所・便所、その他これらに類する室(以下、「洗面所等」という。)のダクトと接続される場合で、洗面所等のダクトが不燃材料で造られている場合はこの限りでない。

3.その他

- 漏電遮断機を設けること。
- 機器本体に近接する部分に、機器本体の点検・清掃に必要な点検口(容易に点検・清掃できる構造のものを除く。)を設けること。

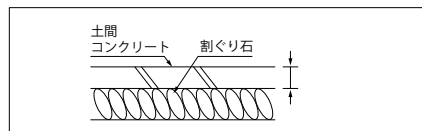
- 基本的には、上記基準により規制されておりますが、東京都の指導基準が緩和され、一部地域では樹脂成形天井及び収納ニッチが取り付けられたバスルームにも暖房換気乾燥機(電気式)の取り付けができますので、所轄の監督官庁にてご確認ください。

6.基礎について

バスルーム総質量は、ご使用時600～1000kg程度になりますので必ず設置スペースには割り石、土間コンクリートを敷いてください。また、アジャスターボルト、鉄板、基礎ブロック各々の間は、強固に接着してください。基礎ブロックに空洞ブロックを使用される場合は、空洞部に必ずモルタルを充填してください。

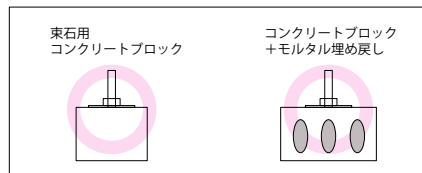
a) 土間コンクリート打ち

- バスルームを設置する土間には、必ず割り石を敷設したうえで土間コンクリート打ち(厚さ最低60mm以上)をお願いしてください。



b) 基礎ブロック

- コンクリートブロックを使用する場合は、束石用のものを使用し、やむをえず中空のブロックを使用する場合は、中空部を必ずモルタルにて埋めておいてください。



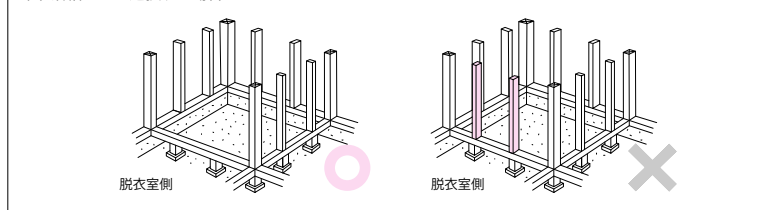
7.階上設置の場合

- オプションで浴槽パンセットの選択をお勧めします。
- 浴槽水受けトレイ(追焚部)は後付けできませんので、あらかじめご採用いただくことをお勧めします。(浴槽パンセットを選択の場合は不要です。)

8.浴槽パンを選択する場合(下図参照)

- 浴槽パンを取付設置するためには、ドア取り付け面(脱衣室側)の一面に間柱や壁がなく、完全に開口されている必要があります。その面への間柱や壁などの建て込みは、バスルーム設置後に行ってください。

図:浴槽パンを選択する場合



■取付設置事項

1. 建築側工事

- a) 建築側基準スミ出し工事
(ただし、バスルーム据付位置スミ出しは当社工事)
 - b) スリーブ位置スミ出し工事
 - c) 雑排水管スラブスリーブ入れ工事および補修工事
(材工共)
 - d) 給水、給湯管のコンクリート壁またはブロック壁の穴あけ及び補修工事
 - e) 床スラブ、精度-20 ~ 0を超えた場合、ハツリ工事およびカサ上げ
 - f) バスルーム本体外装工事
 - g) 建具まわりつけ枠、巾木工事 (材工共)
 - h) 残材場外搬出工事
(ただし、場内指定場所までの運搬は致します)
 - i) 現場調達の窓サッシの取り付けおよび窓枠回りの木補強
(バスルーム取付設置時に取り付け)
 - j) 据付けに要する束石用コンクリートブロック等の設置工事 (材工共)
- ※ c)、d) 項の補修工事は、貫通穴補正ハツリと埋戻し工事を意味します。

設備工事店様

水道工事

■確認事項

- 太陽熱温水器・太陽ヒーターはお使いになれません。
- 水栓に使用できる水質は、水道水および飲用可能な井戸水です。水道水および飲用可能な井戸水 (地下水) 以外は使用しないでください。
- 混合水栓の吐水の切り替え時にウォーターハンマー現象が発生する所につきましては、市販の緩衝装置を別途お使いください。
- 吐水切換ハンドルは全開で使用してください。給湯機が着火しない場合があります。
- 水栓の入り口での給湯圧力が低いと、シャワーの流量が少なくなったり、勢いが弱くなることがありますので、以下の表に示す最低必要水圧以上を確保してください。
- 最低必要水圧=水栓の入り口での給水、給湯圧力 (動水圧)

シャワーヘッド種類	最低必要水圧
コンフォートシャワーヘッド (メタル)	0.05MPa
コンフォートシャワーヘッド (メタルワンタッチ)	0.07MPa
3WAYシャワーヘッド	0.10MPa

- コンフォートシャワーヘッド (メタルワンタッチ)、3WAYシャワーヘッドの手元スイッチがついているシャワーヘッドを選定される場合には、給湯圧力が低い場合には流量が少なくなったり、勢いが弱くなることがあります。ご選定いただく場合は、必ず最低必要水圧以上を確保してください。
- 給湯機に貯湯式温水器 (エコキュート含む) をお使いの場合は、給湯圧力が低くなり、シャワーの流量が少なくなったり、勢いが弱くなることがありますので、高圧力タイプをお勧めいたします。高圧力タイプ以外の温水器をご使用の場合は、通常のシャワーヘッド (コンフォートシャワーヘッド (メタル)) をご選択ください。
(コンフォートシャワーヘッド (メタルワンタッチ)、3WAYシャワーヘッド、は手元スイッチがついており、安全設計のため減圧弁が設けられ、流量が少なくなります。)
- 瞬間型給湯機や貯湯式温水器の高圧タイプなど、給湯圧力の高い給湯機器でも、給湯機器の入り口の圧力が低い場合、シャワーの流量が少なくなったり、シャワーの機能が使用できない場合があります。

メタル水栓の場合

- 給水圧力は給湯圧力より高くするか、同圧になるようにしてください。(ただし、給水圧力が給湯圧力より極端に高い場合、混合水栓の温度調節機能が正常に動作しない場合があります。)
- 適正な流量確保のため、給水・給湯圧力は0.2 ~ 0.3MPaをおすすめします。

- 圧力が高く、流量が多い場合は、15L/分の吐水量となるように止水栓で調整してください。
- 建屋配管の耐圧、止水確認時は水栓金具に直接圧を加えないようにしてください。必ず水栓金具の止水栓を締めてから作業山路を登りながらを行ってください。
(水栓金具が破損する可能性があります。)
- 給水圧力が0.75MPaを超えると、市販の減圧弁で、0.2MPa程度に減圧してください。
- 給湯機からの配管は最短距離で配管し、配管には保温材を巻いてください。
- 使用諸条件を加味して適正な能力の給湯機を選ばないと、適正な吐水量及び吐水温度が得られないことがあります。
- 2階へ給湯する場合、シャワーの流量が少なくなる可能性があります。

コンフォートシャワーヘッド (メタルワンタッチ) ・新W節水シャワーヘッドの場合

- 快適にご使用いただくために、水圧0.2MPa程度確保することをおすすめします。

■取付設置事項

1. 建築側 (設備) 工事

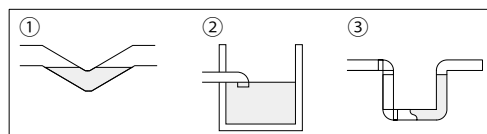
- a) 水栓固定金具以降の給水、給湯管工事および接続工事 (材工共)
 - b) 裏配管セットの場合は、裏配管以降の給水給湯接続工事 (材工共)
 - c) 外釜取り付け、追焚循環金具取り付け、および配管接続工事 (材工共)
- ※ b) 項については、バスルーム専用の裏配管セットを用意しております。詳しくは、19 ~ 28ページの給水・給湯接続についてをご参照ください。

2. 排水トラップについて

- 在来工法の浴室からリフォームする場合、バスルームには排水トラップがついていますので、排水管接続以降にトラップを形成しないでください。
ダブルトラップ (※) になりますので、事前に既設トラップがないか確認してください。(下図参照)

既設トラップの例

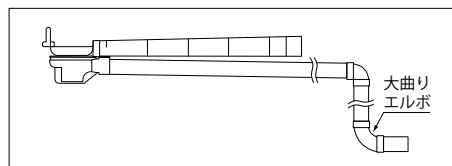
- ① 配管が長くたわんでトラップを形成している。
- ② 排水マスに配管端末が水没している。
- ③ 排水マスへの配管途中にトラップを設けている。

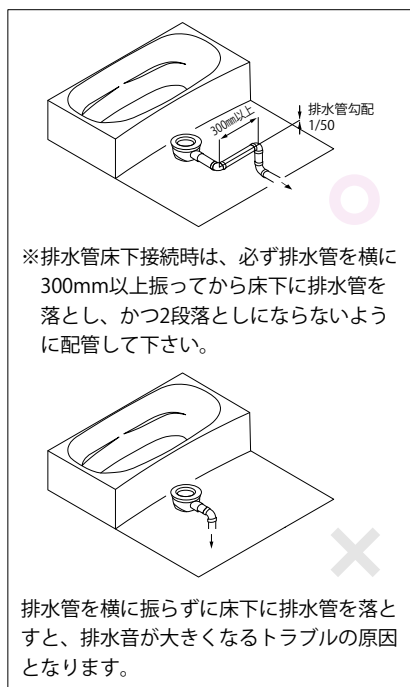


※バスルームの排水トラップとは別にトラップが形成されており、2つのトラップ間にたまった空気が抵抗となって排水不良を起こす現象。排水が遅い、ゴボゴボと音が鳴るなどの症状が見られます。

3. 排水管接続について

- バスルームに付属する排水管の取り付け以外の接続工事はSB取付設置店様の作業となります。
- バスルーム以降で排水管を縦方向に落とす場合、下図のように落とした先に大曲りエルボを使用しなければ、排水時に異音が発生することがあります。





4.給水給湯・追焚配管について

- バスルーム取付設置前に給水給湯・追焚配管を両方とも所定の位置に立ち上げてください。

5.追焚・風呂釜工事について

- 釜接続の後は必ず水漏れのないことを水張り試験にて確認してください。
- 浴槽釜開口可能範囲以外には、釜の接続穴は開口しないでください。
- 窓と同じ方向に外釜を設置する場合は、消防法の確認をしてください。
- 自然循環釜は使用できません。
- 階上設置の場合、浴槽水受けトレイ（追焚部）は後付けできませんので、あらかじめご採用いただくことをお勧めします。

電気工事

※ 関連する法令・法規にしたがって、必ず「有資格者」が行ってください。

■取付設置事項

1.建築側（電気）工事

- 電気機器への電源接続など（材工共）

2.暖房換気乾燥機（電気式）について

電気設備技術基準に基づきD種（第3種）接地工事及び漏電ブレーカの取り付けを行ってください。

空調工事

■取付設置事項

1.換気扇・暖房換気乾燥機（電気式）について

- ダクト接続（材工共）

SB取付設置店様

■取付設置事項

1.排水管接続について

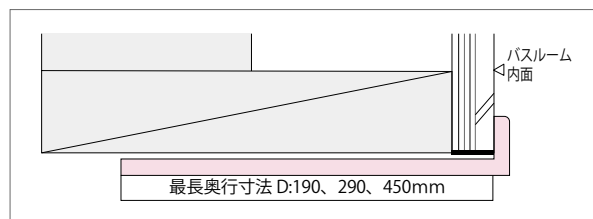
- バスルームに同梱の排水管の取り付け。
（それ以外の排水管接続工事は水道工事業者様の作業となります）

サイズ	内容物	数量
全サイズ	塩ビ管50A単管	1850mm 1本
	90° エルボ（50A）	2個

2.窓について

- フリーサイズ窓枠セット

窓サッシが別途の場合、バスルームとの接続用にご利用ください。



3.天井裏断熱材について（下図参照）

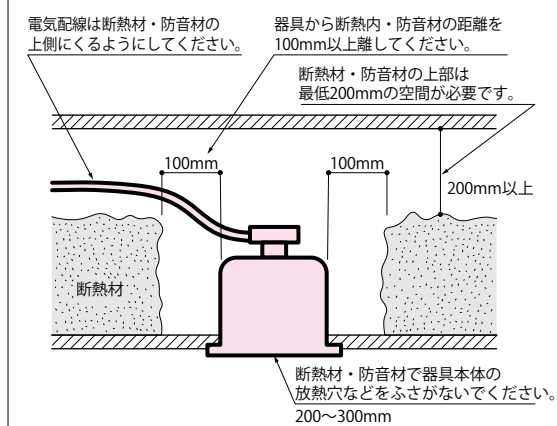
ダウンライト照明・換気扇・各種制御ボックスの周囲には、天井裏の断熱材は100mm以上離してください。

4.制御ボックス等の設置について

制御ボックス・電源ボックスは、浴室天井の指定位置に設置してください。

浴室内および屋外には設置しないでください。

図：天井裏断熱材について



<ご注意事項>

安全上・使用上のご注意

■壁

- 壁パネルを清掃する際、シンナーなどの溶剤を使用しないでください。表面塗膜や表面材が劣化する可能性があります。

■浴槽・風呂フタ

- 浴槽貯湯時、上面・下面の温度差のため、風呂フタに反りが生じます。
- 浴槽内ベンチをご使用の際、追焚口や給湯の吐出口からの吐出湯による火傷にご注意ください。
- 80℃以上のお湯が浴槽表面に直接に当たるとする使い方は性能の劣化を早めるおそれがあります。浴槽表面に80℃以上のお湯が直接当たらないよう、浴槽にお湯がたまった状態で使用するなど、ご注意ください。

洗い場側

浴槽側

- 次の入浴剤は、できるだけご使用をお控えください。
(給湯機の取扱説明書、入浴剤の取扱説明書を十分に確認してください。入浴後は、速やかにお湯を流し、水洗いしてください。)
〔浴槽やその周囲を傷めたり、変色したりするおそれがあるもの〕
 - ・酸性またはアルカリ性
 - ・イオウ成分、塩分、オイル成分が入ったもの
 - ・備長炭
 - ・液体入浴剤
 - ・温泉水または温泉水を濃縮し、粉末状にしたもの
 - ・色の濃いもの
〔給湯機や配管を傷める原因となるもの〕
 - ・バスバブル、石鹸（浴槽内）など
 - ・白濁系
 - ・生薬
(粉末成分、固形成分が浴水中に混じるもの)
 - ・ミルク成分配合のとりみ系のもの
 - ・発泡系のものは泡がなくなってから追い焚き運転をしてください。

- 複数の入浴剤は同時に使わないでください。
- 入浴剤は完全に溶かしてから運転してください。（固形物を吸い込むと機器が故障するおそれがあります。）
- 入浴剤を足して使用しないでください。
- 浴槽には、必ず当社専用の風呂フタをご使用ください。一般市販の風呂フタには、可塑剤により浴槽表面を傷めるものがあります。
- 3点フックは、高い位置（床面から約100cm、浴槽フランジ面から約50cm）へ風呂フタを持ち上げて収納するため、お子様やご高齢者が使用される場合にはご負担が大きくなります。

■エブロン

- エブロンは清掃時・設備等のメンテナンス時以外は取り外さないでください。

■換気扇

- ドアを急速に開閉すると、風圧シャッター（逆流防止部品）が動き、音がする場合があります。（異常ではありません。）

■暖房換気乾燥機

共通

- 排気ガスが浴室内に逆流して一酸化炭素中毒を起こすおそれがあるため、内釜式風呂を設置した浴室には設置できません。
- 入浴後にお湯が残っている場合は、風呂フタをして6時間～半日くらいは暖房換気乾燥機を連続運転してください。換気をよくすることが天井や壁面を乾かし、カビの発生を防ぐ一番の方法です。

オートルーバー暖房換気乾燥機のみ

- オートルーバー暖房換気乾燥機のリモコンはリモコンホルダーから外し、機器本体に向け操作してください。

■照明

- 点灯中の光源を直接見続けしないでください。（目を傷める原因となります。）
- 照明器具は、点灯中や電源を切った直後にランプを触らないでください。（やけどをするおそれがあります。）
- 照明器具は、指定されたランプを使用してください。（火災の原因となります。）
- 照明器具にタオルなどを掛けしないでください。（過熱して火災の原因となります。）
- 照明器具のカバーを外したり、破損したまま使わないでください。（感電したり、ランプが割れてけがをするおそれがあります。）
- 照明カバーは確実に取り付けてください。（落下し、けがをするおそれがあります。）
- 照明器具に直接水やお湯をかけないでください。（感電の原因となります。）
- 使用する電球によっては、照明カバーの中心と電球の光源の中心が合わない場合があります。
- 照明カバーの着脱時に無理な力を加えないでください。（破損し、けがをするおそれがあります。）

■混合水栓

- 適正な流量、および湯温（40℃）を得るために、給湯機の設定温度を50～60℃に設定してください。
- 混合水栓の上に乗ったり足を掛けたりしないでください。
- コンフォートシャワーヘッド（メタルワンタッチ）、3WAYシャワーヘッドの手元スイッチがついているシャワーヘッドを選定される場合には、給湯圧力が低い場合には流量が少なくなったり、勢いが弱くなる場合があります。ご選定いただく場合は、必ず最低必要水压以上を確保していただくよう、ご販売店様とご相談ください。
- 最低必要水压=水栓の入り口での給水、給湯圧力（動水压）

シャワーヘッド種類	最低必要水压
コンフォートシャワーヘッド(メタル)	0.05MPa
コンフォートシャワーヘッド(メタルワンタッチ)	0.07MPa
3WAYシャワーヘッド	0.10MPa

- 給湯機に貯湯式温水器（エコキュート含む）をお使いの場合は、給湯圧力が低くなり、シャワーの流量が少なくなったり、勢いが弱くなる場合がありますので、高圧力タイプをお勧めいたします。高圧力タイプ以外の温水器をご使用の場合は、通常のシャワーヘッド（コンフォートシャワーヘッド（メタル））をご選択ください。（コンフォートシャワーヘッド（メタルワンタッチ）、3WAYシャワーヘッドは手元スイッチがついており、安全設計のため減圧弁が設けられ、流量が少なくなります。）
- 瞬間型給湯機や貯湯式温水器の高圧タイプなど、給湯圧力の高い給湯機器でも、給湯機器の入り口の圧力が低い場合、シャワーの流量が少なくなったり、シャワーの機能が使用できない場合があります。

■フリーサイズ窓枠・全幅開口用窓枠

- 窓枠に突っ張り棒形式のブラインドなどを取り付けないでください。（守らないと、破損や水漏れの原因となります。）

- 窓枠に3kg以上の物を置かないでください。（守らないと、破損や水漏れ、転倒によるけがのおそれがあります。）
- 窓枠に寄り掛かったり、足を掛けたり、乗ったり、手をつけて体重をかけたりしないでください。（守らないと、破損や水漏れ、転倒によるけがのおそれがあります。）

選定上のご注意

■主要部材

- 壁高さH2150のプランをご選定された場合、器具位置も高くなるため照明ランプの交換や、暖房換気乾燥機・換気扇、ドアのガリリなどのお手入れをする位置も高くなります。

■照明

- サークルLED照明は光源にLEDを採用しています。専用のLED照明ユニットを使用しており、お客様で自身の交換はできません。
- LEDを使用した照明器具のLED素子にはばらつきがあるため、同じ品番の商品でも光色・明るさが異なることがあります。
- LED照明は、外部の調光器（照明の明るさを調節する装置）と組み合わせて使用することはできません。
- 使用する電球によっては、照明カバーの中心と電球の光源の中心が合わない場合があります。
- 床や壁の色が濃色の場合、照度が低下します。十分な照度を確保するため、壁付照明は2灯をお勧めします。

■クリーン排水口：フッ素系特殊コーティング（ヘアキャッチャー・封水筒）

- 水質によっては、水あかなど強固に固着した汚れが落とせない場合があります。
- 髪質や毛髪量が少ない場合など、使用条件によっては簡単に毛髪を除去できない場合があります。
- 髪質や毛髪の長さによって、ヘアキャッチャーの取っ手部に引っかかり、毛髪を除去しにくいことがあります。

■浴槽・風呂フタ

- 循環式浄化温水器（24時間バス）の設置について
 - ・浴槽はクリーン浴槽の保温なし仕様を選定してください。（保温ありの場合、湯温が上昇しポンプ部品が故障するおそれがあります。）

※循環式浄化温水器（24時間バス）の施工もそれがあります。）たは、使用に起因する浴室の故障修理については、保証期間内でも有料となります。※循環式浄化温水器（24時間バス）などの他社機器に対応した、専用の風呂フタはございませんので、標準品での対応となります。

- 風呂フタは浴槽形状に沿った形状ではありません。
- 風呂フタフックの設置場所は、握りバーなどのオプション部材が付く場合、標準位置に取り付けできない場合があります。（その場合は、オプションの3点フックをお勧めいたします。）
- 3点フックは、風呂フタの選定に制約が出る場合があります。ご確認のうえ、ご選定ください。
- 水質によっては、水あかなど強固に固着した汚れは落とせない場合があります。
- 汚れを放置しておくと、落ちにくいことがあります。

- クリーン浴槽の場合、防汚効果を維持するためにはお掃除が必要です。
- 階上設置の場合、オプションで浴槽パンセットの選択をお勧めします。
- 階上設置の場合、浴槽水受けトレイ(追焚部)は後付けできませんので、あらかじめご採用いただくことをお勧めします。(浴槽パンセットを選択の場合は不要です。)
- クリーン浴槽は、天然のパール材料を使用しているため、濃い柄粒が目立つ場合があります。

- 保温浴槽・専用風呂フタ
- カタログに掲載している湯温の変化は、JIS高断熱浴槽（JIS A 5532 浴槽）
周囲環境温度：10℃ / 浴槽水量：深さ70%
測定開始湯温：40℃ / 風呂フタを閉じた状態で4時間後の湯温低下が2.5℃以下の使用条件での値です。
- 浴槽内の温度変化は、JIS基準の条件の値です。ご使用の条件で湯温低下は異なってきます。以下の場合も、湯温がカタログ表示値より低下します。
- ・浴槽内の湯を循環させることで凍結を防止するタイプの追い焚き付き給湯機をご使用の場合
- ・循環金具を取り付けた場合
- 浴槽フレンジ部には、水が残らないように勾配がとってあるため、風呂フタと浴槽にすき間が発生しますが、保温性能に問題はありません。
- 風呂フタは、オプションの選択により洗い場側設置となる場合があります。洗い場側設置の場合には、危険防止のため風呂フタフックは設置できません。(3点フック含む)

- クリーンフロア
- 使い始めは床にワックスが残っていて、水滴が残ることがあります。
その場合は、浴室用中性洗剤で清掃してください。
- 床の勾配は約1度以上に設定していますが、床の滑り止めパターンなどに一部水滴が残ることがあります。また、湿度が高い場合など、条件によっては、床が乾燥するまでに1日以上かかることがあります。

なお、床に残水する原因としては、下記の理由があります。

- ・浴室内の湿度が高い場合（風呂フタを使用しない場合や、換気が不十分な場合）
- ・外気の湿度が高い場合（梅雨時、雨天など）
- ・外気の気温が低い場合（冬場など）
- ・風呂用品が床と接している部分（風呂イスなど）（上記の状態では、床に汚れの付着がなくても残水する場合があります。）
- ・せっけんカスやリンス、クレンジング剤、垢、砂埃などの付着が多い場合

- ドア下枠内や、ドア前カバーと床の接合部などに水が残る場合があります。
- 床色がホワイト系や濃色系の場合、汚れが多少目立ちやすくなります。濃色系の場合、地域による水質の違いにより、白い水あかが目立ちやすくなる場合があります。日常のお手入れをこまめにしてください。
- クリーンフロア（柄付）の床の効果は、使用環境やお掃除の頻度により異なります。また、効果を維持するためには、お掃除が必要です。
- 犬や猫などを直接浴室に入れないでください。(つめなどで、浴室に傷がつく場合があります。)

■混合水栓

クリーンスクエアサマー水栓

メタルスクエアサマー水栓

- クリーンスクエアサマー水栓・メタルスクエアサマー水栓の場合最高吐水温度＝給湯器の温度ではありません。
給湯器の設定温度より低い温度になります。

- シャワーヘッド
- シャワーを止めた後、シャワーヘッドから水滴が落ちることがあります。
これは、ヘッド内の残留水が排出されるものです。故障ではありません。

■ドア

共通

- 浴室のドアは、シャワーや体に当たった水がドアと枠の間に入っても、枠や目地材（パッキン）に当たって、外に出ないようにしております。完全に空気（蒸気）や光の漏れを防止する構造ではありませんが、上記の構造で水は漏れません。
- 満水状態の浴槽に一気に入浴するような行為はお避けください。
- 換気のためガラリ（給気口）を設けており、そこから蒸気が漏れます。一般的に洗面所は、ドアを開けた時に漏れる蒸気や、洗面時に出る蒸気に対応できるように、紙や土などの水に弱い材料を使わない構造となっております。それにより、洗面所が傷むことはないと考えられます。

ドア・FIX窓（強化ガラス仕様）

- 強化ガラスが破損すると破片でけがをすることがあります。ドアを乱暴に開閉したり、衝撃・衝突を与えないようにしてください。万一、破損した場合はガラスの破片の取り扱いに十分ご注意ください。
- ①強化ガラスには以下のような性質があります。
- (1)一部に破損が起こるとガラス全体の応力のバランスがくずれ、瞬間的に全面破砕します。これにより、ガラスが脱落することがあります。
- (2)ガラス表面の傷や、ごくまれにガラス中に残存する不純物などに起因する傷が成長し、外力が加わっていない状態で不意に破損することもあります。
- ②ひび（クラック）の生じたガラスは、それが小さくても放置しないでください。ひびの生じたガラスは手で軽く押したり、比較的弱い風が吹いただけでも破損することがあります。放置せずにできるだけ早くガラスをお取り替えください。
- ③ガラスに紙をはったり、ペンキを塗ることはおやめください。
- ④強化ガラスの脱衣室面には、ガラスの飛散を防止させるためのフィルムがはってあります。フィルム表面に硬いものが接触するとフィルムに傷が入りますのでご注意ください。また安全上、はがしたりしないでください。

- 天井
- 天井・機器類共に浴室内温度や浴室周囲温度、湿度の条件によっては結露する場合があります。

- 換気扇
- 換気扇は乾いた空気で浴室を乾燥しますが、床面や浴槽の底面についた水滴（水溜まり）は、湿度の高い雨の日や寒い冬の日などには取れないことがあります。
- 換気扇は入浴中に使っても、浴室を乾かす効果はありません。換気扇の表面に付いた水滴が落ちることがあります。冬場は外部からの冷たい空気が、ドアのガラリから入ることがあります。

■暖房換気乾燥機

共通

- 暖房換気乾燥機（電気式）の乾燥能力・暖房能力・サウナ能力は、気温や浴室の大きさ、窓の有無、断熱性などによって変化しますのでご了承ください。
- 換気運転により浴室を乾燥させる際、大きな水溜りは取れないことがあります。
- カウンターなどに大きな水溜りがある場合は、タオルなどで水分を軽く拭き取ってください。
- 運転を行う前には「取扱説明書」に記載している「運転前の準備」を行ってください。
- 浴室を乾燥させる能力は、設置の状態（ダクトの圧力損失など）、浴室周囲の気温や湿度、浴室の大きさ、窓の有無、断熱性などで使用の環境により異なります。
- 入浴中に換気運転しても、浴室を乾かす効果はありません。冬場は外部の冷気がドアのガラリから入ります。
- フロントパネルの表面に付いた水滴が落ちることがあります。
- カビを生じにくくするためにはお手入れも大切です。詳しくは「取扱説明書」をご参照ください。

浴室乾燥運転を使用する場合

- 乾燥能力は、設置の状態（ダクトの圧力損失など）、浴室周囲の気温や湿度、浴室の大きさ、窓の有無、断熱性などご使用の環境により異なり、十分に乾かない場合があります。浴室が十分に乾いていないと感じる場合は、機器の設定を変更してください。詳しくは「取扱説明書」をご参照ください。
- 最後の入浴者が入浴後ドア・窓を開め、風呂フタをするか、お湯を抜いてから浴室乾燥運転を行ってください。
- 浴室乾燥運転では浴室の乾きやすさを判定し、運転を制御しています。下記の場合、浴室が十分に乾かない、節電効果が発揮されない、適切な時間で運転停止しないことがありますので、ご注意ください。詳しくは「取扱説明書」をご参照ください。
- ・ドア・窓が開いている
- ・浴槽にお湯（水）が残っていて、風呂フタが開いている
- ・運転中に頻繁にドア・窓の開閉を行う・入浴中に運転を行う
- 運転中に天候の変化などにより浴室周囲の温度・湿度が急激に変化した場合や電源電圧が変化した場合、浴室が十分に乾かないことがあります。その場合には、追加で換気（強）運転を行い浴室を乾燥させてください。

乾燥（節電）運転/自動乾燥運転を使用する場合

- 乾燥能力は、設置の状態（ダクトの圧力損失など）、浴室周囲の気温や湿度、浴室の大きさ、窓の有無、断熱性、物干しバーの位置、衣類の量・干し方など、ご使用の環境により異なり、十分に乾かない場合があります。衣類が十分に乾いていないと感じる場合は、機器の設定を変更してください。詳しくは「取扱説明書」をご参照ください。

- 。「取扱説明書」の「運転前の準備」や「衣類乾燥の上手な使い方」をご参照の上、運転を行ってください。
- 運転を行うときには、衣類の干し方に合わせて、適切に風向設定を行ってください。風向設定の方法は「取扱説明書」をご参照ください。
- 乾燥（節電）運転および自動乾燥運転では衣類の乾燥状態を認識し、運転を制御しています。下記の場合、十分に乾かない、節電効果が発揮されない（乾燥（節電）運転）、適切な時間で運転停止しない（自動乾燥運転）ことがありますので、ご注意ください。詳しくは「取扱説明書」をご参照ください。
 - ・ドアや窓が開いている
 - ・浴槽にお湯（水）が残っていて、風呂フタが開いている
 - ・浴室の壁、天井、床が濡れている
 - ・干している衣類と衣類の間隔が狭い
 - ・風の当たらない位置に衣類が干されている
 - ・風の当たりにくい位置（物干しバーの端など）に厚手の衣類が干されている
 - ・運転中にドアや窓の開閉を頻繁に行う
 - ・運転中に衣類を追加したり入れ替えたりする
 - ・衣類の量が多すぎる（適切な衣類の量は乾いた状態の重量で下記の通りです。
 - 乾燥（節電）運転：1～3kg、
 - 自動乾燥運転：2～3kg）
- 乾燥（節電）運転を行う場合には、衣類量に合わせて適切な運転時間を設定してください。設定が不適切な場合、十分に乾かない、節電効果が発揮されない場合があります。詳しくは「取扱説明書」をご参照ください。
- 運転が停止したあとに衣類を放置すると、浴室に残る湿気を吸収し、湿っぽくなる場合があります。
- 下記のような条件の場合には、十分に節電効果が発揮されない場合がありますため、乾燥（節電）運転よりも乾燥（タイマー）運転で時間を調整しながら運転することをおすすめします。
 - ・生乾きの状態から運転を行う場合
 - ・乾燥させる衣類の量が非常に少ない（1kg未満）場合
 - ・運転中、浴室内の湿度が非常に高い状態が続く場合
- 衣類の量が3kgを超える場合は、乾燥（タイマー）運転で衣類の乾燥状態を確かめながら、干す位置や運転時間を調整して運転を行うことをおすすめします。
- 運転中に天候の変化などにより浴室周囲の温度・湿度が急激に変化した場合や電源電圧が変化した場合、衣類が十分に乾かないことがあります。その場合には、追加で乾燥（タイマー）運転を行い衣類を乾燥させてください。
- 自動乾燥運転で衣類の量が2kg未満の場合または生乾きの状態から運転した場合、適切な時間で運転停止しないことがありますので、乾燥（タイマー）運転で衣類の乾燥状態を確かめながら、干す位置や運転時間を調整して運転を行うことをおすすめします。

■各種リモコン

- 窓・握りバー・ミラーなどの選択内容によって取り付け場所が制限されますので、事前にご確認をお願いします。

■後付け握りバー

- 後付け握りバーは壁裏に補強がないため、最初から付けている場合（補強あり）に比べて使用時の壁と握りバーの取り付け剛性感が低くなります。また、使用年数の長い弊社バスルームについても同様に取り付けの剛性感が低くなります。ご採用時にご注意願います。

■物干しバー

- 物干しバーの耐荷重は10kgです。

■全幅開口用窓枠・既設窓アタッチメント

- 壁パネルを3枚にまたいでの全幅開口は、できません。
- 既設窓アタッチメントご選定の際には、必ず全幅開口用窓枠も合わせてご選定ください。
- 窓の取り付け位置によっては、せっけん水などが窓枠をつたって洗い場側から浴槽側に流れ込む場合があります。

取付設置上のご注意

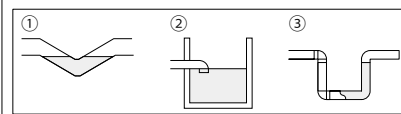
■設備工事

排水トラップについて

- 在来工法の浴室からリフォームする場合、バスルームには排水トラップがついてしますので、排水管接続以降にトラップを形成しないでください。ダブルトラップ（※）になりますので、事前に既設トラップがないか確認してください。（下図参照）

既設トラップの例

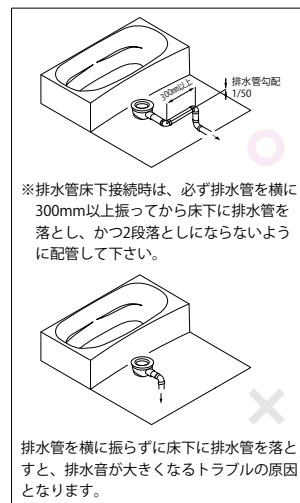
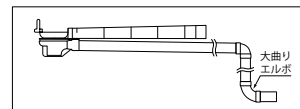
- ① 配管が長くたわんでトラップを形成している。
- ② 排水マスに配管末端が水没している。
- ③ 排水マスへの配管途中にトラップを設けている。



※バスルームの排水トラップとは別にトラップが形成されており、2つのトラップ間にたまった空気が抵抗となって排水不良を起こす現象。排水が遅い、ゴボゴボと音が鳴るなどの症状が見られます。

排水管接続について

- バスルームに付属する排水管の取り付け以外の接続工事はバスルーム取付設置店様の作業となります。
- バスルーム以降で排水管を縦方向に落とす場合、下図のように落とした先に大曲リエルボを使用しなければ、排水時に異音が発生することがあります。



■風呂フタ

3点フック

- 3点フックの取り付け推奨位置は、標準身長のお客様を想定しております。身長170cm以上のお客様がご使用になる場合、入浴時に頭が風呂フタに当たるなどの可能性があります。取り付け位置については事前に打ち合わせください。

■換気扇・暖房換気乾燥機

共通

- 電気設備技術基準に基づきD種（第3種）接地工事を行ってください。
- 取り付けの際は必ず専用の漏電ブレーカが取り付けられていることを確認してください。

オートルーバー暖房換気乾燥機のみ

- ・リモコンはサンワカンパニーバスルーム『取付設置説明書』の指定位置（浴室）に取り付けてください。
- ※指定位置以外に取り付ける場合は、シャワーなど水のかかりにくい場所（シャワー水栓の反対側など）に設置してください。

メンテナンスについて

■主要部材

- (天井・壁・床・浴槽・ドア・カウンター)
- やわらかいスポンジに中性洗剤を含ませてふいてください。(タワシを使ったり、中性洗剤以外の洗剤を使ったりしないでください。)
 - 汚れを放置するとカビの原因になりますので、汚れ具合によっては定期的に清掃してください。
 - 浴室で洗濯などをすると、ヘアキャッチに毛・埃が詰まることがありますので、洗濯をした後にはヘアキャッチの清掃をしてください。
 - クリーン排水口：フッ素系特殊コーティングは、表面のコーティングに傷が付きますので、ヘアキャッチや封水筒の清掃には、研磨剤の入った洗剤やメラミンスポンジを使用しないでください。
 - 壁の目地部（シーリング材部）については、はがれにより水漏れの原因となるため、引っかかりないように清掃してください。
 - シーリング材は年数がたつにつれてすり減ってくるものです。カビも繁殖しやすく、カビがつくと取れにくくなります。また、すり減ったりはがれたりすると、水漏れの原因にもなります。3～6年に1回の打ち替えをお勧めします。
 - 地域による水質の違いで白い水あかが付着しやすい場合があります。白い水あかはそのまま放置すると固着して取れなくなりますのでこまめにお手入れしてください。濃色系の部材は、特に目立つ場合があります。
 - 主要部材以外の機能部分については、各々の取扱説明書をご参照ください。

■照明器具・暖房換気乾燥機・

換気扇

- 照明器具には指定されたランプを使ってください。
(指定されたランプを使わないと、火災の原因となります。)
- 照明ランプの交換や、照明器具・暖房換気乾燥機・換気扇などの電気部品のお手入れは、必ず電源を切ってから行ってください。
(切らないと、感電やけがをするおそれがあります。)
- 照明ランプの交換や、照明器具・暖房換気乾燥機・換気扇などのお手入れの際は、安定した踏み台を使用してください。
(安定した踏み台を使わないと、バランスを崩して転倒し、けがをするおそれがあります。)
- 換気扇のルーバーは、清掃後に必ず元どおりに取り付けてください。
(守らないと落下し、けがをするおそれがあります。)